

朗読会

～声で楽しむ本の世界～

朗読会って何するの？ 今回は、エッセイや短編などを、音訳ボランティア「グループ藍野」の皆さんが音読します。聴いて楽しむ本の世界を体験してみませんか？ ぜひ、お気軽にご参加ください。



日時 11月1日(土) 14:00～15:00
場所 茨木市立中央図書館 2階多目的室
定員 当日先着 40名 (申込不要・入場無料)

【プログラム】 ※内容を変更する場合があります。

1. 『声に出して読みたい日本語』より『寿限無』(斎藤 孝／著)
ある男が息子に素敵な名前をつけようと和尚に相談した結果、非常に長い名前になってしまい苦労するという話。声に出して読んだ時のリズム・テンポ・響きを楽しんでください。
2. 『物語のなかとそと』(江國 香織／著)
街歩きやお風呂、好きなパンのこと・・・日常の事実と創作が交差するエッセイ集。現実を生きる時間よりも物語に浸る時間が長い著者の、静かで柔らかく豊かな思想の軌跡。ぜひ、五感で味わってください。
3. 『夢をかなえるゾウ』(水野 敬也／著)
関西弁を話すゾウの神である「ガネーシャ」が、平凡なサラリーマンである主人公に様々な課題を与えつつも、人生を変える秘訣を教える物語。きっと、あなたの心に響く言葉が見つかります。
4. 『おかげ犬』(乾 緑郎／著)
江戸時代、主人公の代わりに伊勢参りへの使命を担った一匹の犬。旅路での困難にも、多くの人間に助けられながら立ち向かう姿が、勇気と感動を与えてくれます。